

## 唐津西高校

### 活動実績 No. (6)

|       |   |
|-------|---|
| 活動名   | まつら同窓会総会での吹奏楽部の演奏   |
| 実施日   | 令和5年6月10日(土)  |
| 活動の記録 | <p>1. 活動の様子</p> <p>本校の同窓会である「まつら同窓会」の総会において、吹奏楽部が演奏を行った。演奏の司会や曲紹介は代表生徒2名が行い、計4曲の演奏の中では手拍子やソロパートを取り入れるなどの工夫もみられた。高校生の演奏に同窓生の皆さんも手拍子で盛り上げ、とても賑やかな雰囲気での演奏会となった。</p> <p>2. 感想</p> <p>とても温かい雰囲気の中で、気持ちよく思い切り演奏でき、とても楽しかったです。最後の校歌演奏の時は、皆さんが立って一緒に歌ってくださいました。会場の一体感が感じられ、様々な世代の人たちが音楽で一つになれたように思いました。(3年)</p> |





## 活動実績 No. (7)

|       |   |
|-------|---|
| 活動名   | 1年地理総合 唐津市危機管理防災課との授業連携   |
| 実施日   | 令和5年6月13日(火)  |
| 活動の記録 | <p>1. 目的</p> <p>防災の視点で地形図を読図するにあたって、どのような場所でどのような災害のリスクが高いのかといった専門的なアドバイスやフィードバックを受けることで、現実の問題として捉えながら地図の読み取りができるようになることをねらいとする。</p> <p>2. 内容</p> <p>単元は、「地図や地理情報システムの役割」で、生徒たちが生活する地域の地図情報から発生が予測される自然災害の読み取りを行った。まず、学習用PCの地図に災害リスクを書き込みながら、危機管理防災課の職員からアドバイスを受けて、相互に質問をしたりしながら、防災の視点で読図を行う。その後、読み取った内容をハザードマップ(今回はWebGISの「重ねるハザードマップ」)と比較することで、どこを読み取ることができていたのかを確認する。最後に、危機管理防災課が作成されたハザードマップをグループに1枚配布し(地域はあえて指定せず)、自分たちの生活する以外の場所からも災害リスクが読み取れるのか、また「なぜ？」や「本当に？」という視点でハザードマップを批判的に見ることにもチャレンジした。その際、重ねるハザードマップと唐津市のハザードマップに違いがあることに気付いた生徒がおり、危機管理防災課の方よりその理由について説明していただくことで、ハザードマップの違いを理解することにもつながった。</p> <p>3. 生徒の感想</p> <p>重ねるハザードマップと唐津市の防災マップを見比べると大半が違っており、一つの情報を信じすぎてはいけないと感じた。災害が起きたときや予測するときは、いくつかの情報を参考にしようと思う。(1年)</p> |
|       |   |